このフォームでご提供頂く情報は、BSIがISO14064-1に基づいたGHG第三者検証のための工数を算出するために必要な情報となります。今回がBSIによる初回検証である場合は、セクション9を除くすべてのセクションに記入をお願い致します。

BSIによって以前にISO14064-1の検証がされた場合は、セクション1、9、10、11、および12に記入してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 1.お客様情報 |  |
| **組織名：** |  |
| **メインサイト住所：** |  |
| **郵便番号：** |  |
| **ご担当者名：** |  |
| **所属部署：** |  |
| **Eメール：** |  |
| **Tel：** |  |
| **携帯：** |  |

|  |
| --- |
| 2.範囲と境界の設定 |
| 組織のGHG排出量の検証範囲と境界を設定するために、次のどの方法を用いているかご教示ください。**運用/財務/資本比率　（選択したもの以外を削除ください）** |
| ***運用****–組織の運用を考慮した検証範囲と境界が設定されている。****財務****–組織の財務支配を考慮した検証範囲と境界が設定されている。****資本比率****–組織の資本比率を考慮した検証範囲と境界が設定されている。* |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 3.サイト別活動内容 |  |  |
| 組織のGHG検証対象のすべてのサイトについて、各サイト種類とサイトの活動、GHG排出量をご記入ください。 |
| ***サイト名称：*** | ***サイト種類：*** | ***当該サイトの活動：*** | ***当該サイトのGHG排出量：*** |
| 別紙EXCELファイルがございましたら、お送りください。 |

|  |
| --- |
| 4. Scope別GHG排出源 |
| 各スコープ別のGHG排出源について以下の表にご記入ください。* Scope1：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出(燃料の燃焼、工業プロセス)
* Scope2 : 他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出
* Scope3 : Scope1、Scope2以外の間接排出(事業者の活動に関連する他社の排出)
 |
| ***対象Scope***  | ***排出源*** | ***排出量*** | ***算定方法*** |
| (例：スコープ2）  | （例：電気）  |  | *例：kWhに電力の排出係数を掛けます。データはサプライヤーの請求書データから収集され、排出係数は政府が公表している企業によるGHG排出量報告のためのGHG変換係数を用いています。* |
| 別紙EXCELファイルがございましたら、お送りください。 |

|  |
| --- |
| 5.基準とプロトコル  |
| 検証に用いる基準やプロトコルをご指定ください。（例：**ISO 14064-1:2018、GHG protocol 、その他基準）** |
|  |

|  |
| --- |
| 6.総GHG排出量 |
| 算出された総GHG排出量をご記入ください。 |
|  |

|  |
| --- |
| 7.報告対象期間 |
| 検証対象となる期間をご記入ください。 |
| DD / MM / YYYY から DD / MM / YYYY |

|  |  |
| --- | --- |
| 8.検証/妥当性確認の要件 |  |
| 検証にはどのレベルの保証が必要ですか？ | 合理的保証/限定的保証 |
| 検証にはどのような重要性レベルが必要ですか？ | 5％/ 10％/その他、具体的に |
| ***限定的保証**** *検証活動の性質と範囲が、履歴データと情報の保証レベルを下げるように設計されている保証レベルです*
* *検証リスクは、合理的保証よりも高い*
* *中程度の保証*
* *証拠収集活動の性質、タイミング、および範囲は意図的に少なくなりますが、それでも意図されたユーザーにとって意味のある保証が得られます*
* *主題が状況においてもっともらしいと結論付けるのに十分な証拠を収集する*
* *消極的な結論の表明　例：「～を確認した範囲においては重要な齟齬は発見されなかった」、「～の基準に従って報告書を作成されていないことを示す事実は認められなかった」*

***合理的保証**** *検証活動の性質と範囲が、履歴データと情報に対して高いレベルの保証を提供するように設計されているが、絶対レベルではない保証のレベルです*
* *検証リスクは許容できる低レベルに低減されます*
* *高いが絶対的な保証レベルではない*
* *主題がすべての重要な点で特定された適切な基準に準拠していると結論付けるのに十分な証拠を収集します*
* *肯定的な結論の表明　例：「～な点において適正に算定、表示されている」、「～のデータは正確で信用できるデータを開示している」*

*保証のレベルはお客様の目的に合致するようニーズを考慮する必要があります。****重要性****意図されたユーザーの決定に影響を与える可能性のある、個々の誤り、脱落、不実報告や表示、これらの集約のレベル* |

|  |
| --- |
| 9.BSIによって既に検証された期間から発生した変更点 |
| ***以下は、前回のBSI検証以降のカーボンフットプリントの変化に関連しています。*** | ***変更点があったか？*** | ***変更の説明*** |
| カーボンフットプリントに含まれるサイト/場所 | はい・いいえ |  |
| GHG排出量のレベルは？ （変化> 10％） | はい・いいえ |  |
| 排出源 | はい・いいえ |  |
| 吸収源/除去 | はい・いいえ |  |
| 排出係数 | はい・いいえ |  |
| 定量化の方法論 | はい・いいえ |  |
| 検証に使用される保証のレベル | はい・いいえ |  |
| 検証に使用される重要性レベル | はい・いいえ |  |

|  |
| --- |
| 10.検証期限 |
| 該当する場合は、検証期限をお知らせください。 |  |

|  |
| --- |
| 11.コンサルティング |
| マネジメントシステムや算定・測定手法に関してコンサルタントを起用している場合は、以下情報をご記入ください |
| コンサルタント名： |  |
| 連絡先： |  |
| 住所： |  |
| Eメール： |  |
| Tel： |  |

|  |
| --- |
| 12.宣誓 |

BSIから見積もりを取得する目的で、上記の情報が私の知る限り提供されていることを確認します。

|  |  |
| --- | --- |
| ご担当者名： |  |
| 職名： |  |
| 署名（入力可能）： |  |
| 署名日： |  |